

DAFTAR ISI

HALAMAN JUDUL.....	I
HALAMAN PENGESAHAN.....	II
HALAMAN PERNYATAAN ORISINALITAS.....	III
PERNYATAAN PUBLIKASI SKRIPSI.....	IV
KATA PENGANTAR.....	V
DAFTAR ISI.....	VII
BAB 1 PENDAHULUAN	
1.1 Latar Belakang Penelitian.....	1
1.2 Pembatasan Masalah.....	7
1.3 Tujuan Penelitian.....	8
1.4 Pendekatan dan Metode Penelitian.....	9
1.4.1 Pendekatan.....	9
1.4.2 Metode.....	10
1.4.3 Teori Penelitian.....	11
1.5 Sistematika Penulisan.....	12
BAB II KERANGKA TEORI	
2.1 Nilai Dalam Karya Sastra.....	14
2.2 Teori Psikologi Secara Umum.....	16
2.3 Psikologi Kepribadian Dalam Karya Sastra.....	17
2.4 Psikologi Kepribadian dalam Tokoh Komik “ <i>With</i> ”.....	20
2.5 Karakter Kamoguchi Masago.....	21
BAB III ANALISIS PENOKOHAN DALAM KOMIK “<i>WITH</i>”	
3.1 Ringkasan Cerita.....	24
3.2 Penokohan.....	33

3.2.1 Tokoh Utama.....	33
A. Kamoguchi Shirou.....	33
B. Kamoguchi Masago.....	40
3.3 Latar.....	46
3.3.1 Latar Tempat.....	47
3.3.2 Latar Waktu.....	51
3.3.3 Alur.....	52
3.4 Analisis Psikologi Kepribadian Tokoh Utama Kamoguchi Shirou.....	57
3.4.1 Sifat Kerja Keras.....	59
3.4.2 Sifat Penyayang dan Pelindung.....	65
3.4.3 <i>Sister Complex</i>	73
BAB IV KESIMPULAN	
4.1 Kesimpulan.....	77
DAFTAR PUSTAKA.....	79
SINOPSIS.....	ix
RIWAYAT HIDUP PENULIS.....	xiii

漫画“With”2008の主人公鴨口四郎から見た人格心理学分析

序論

人間は独立した人格を形成しており、人格形成にはそれぞれの環境の影響を大きく受ける。人格形成過程においてどのような環境要因が影響するのかについては様々な説があるが、誰かがいるときに外で起こることもあり、また近くにいる人にも影響を受ける。さらに自らの条件や他者からの要求なども環境要因としてあげられる。インドネシア語大辞典（以下KBBI）によると、人格とは人間の尊厳（魂、身体、名誉）を自由に行使する権利であるとしている。心理学者のゴードン・オールポート（2017）によれば、人格は構造とプロセスによる組織（心理学的、物理学的側面を含む）である。人格が日常生活において人間の最も顕著な特徴として解釈されている日常生活での例から見ていきたい。

例として、マンガ『With』の主人公四郎はチョウ高校の不良学生たちから妹を守り、そして二度と不良学生が妹に手を出さないように脅した。その結果は頼れる兄とみなされるようになった。人格とはまさにその人の性格によって形成される。例えば、誰からも愛される性格の人物がいるとする。その人の行動にはすべて愛が関係し、そして愛が重要な要素であると考えられている。

本論文では記述的手法と心理学的アプローチを用いてカモグチ・四郎の性格がどのような人格によって形成されているかに注目し、個性や環

境が形成過程に影響するという理論を証明したい。(Wilcox, Lynn, 2011:266).

ここでの心理学とは一般的な理解とは異なる。心理学の語源は“psyche” と “logos”から成り立っている。Psycheは呼吸を意味し、“生命(呼吸によって成り立つ) ; 人間や他の動物の行動の原則、すべての行動、魂や精神の基礎“あるいは”全世界の動物学的原理“を表す。ロゴとは、神学の原則を表す言葉や形を意味し、ロゴは神の言葉を表すのに使われる。つまり、心理学 (psychology) とは生命、魂、精神の原則を明らかにした言葉や形を意味していた。(Wilcox, Lynn, 2011:23)。

人格心理学とはそれ自体に意味を持ち、環境が人間の行動にどのような影響を与えるのかを研究する心理学の一分野である。人格心理学とは幼少期から社会と関わりを持つ中でどのように性格が形成されるのかを突き詰めた結果新しく提唱された研究である。

法論

斎藤けんの作品である“With”では主人公四郎の態度を人格心理学から読み解いていきたい。主人公四郎は真砂の兄であり、妹を守る立場であると同時にシスターコンプレックスを抱いている。四郎は妹の身を守るこ

とを決意^{けつい}し、良き兄^{どりよく}であろうと努力^{どりよくか}している。四郎はまた、努力家^{どりよくか}であり

天才^{てんさい}として周囲^{しゅうい}から認識^{にんしき}されているが本人^{のぞ}はそれを望んではいない。それ

は以下の会話^{いか}からも読み取^とれる。

四郎 : おれ う っ き の ほう が おれ より ずっと
さ っ か ず し
サッカー好き^ずなの知^しってたから。どう
しても、う っ き に せいしき えら
ウッキー^{う っ き}に正式^{せいしき}に選^{えら}ばれて欲^ほ
しくて。何^{なん}でも簡単^{かんたん}にできる奴^{やつ}に俺^{おれ}の
気持ち^{おれなん}なんか一生^{いっせい}わからないうって、言
われた。俺^{おれなん}何でもできるとか言^いわれる
の嫌^{てんさい}だ。天才^{てんさい}とか言^いわれたって何^{なに}ひとつ、
うれしくない。いや、ホントだ
よ。あの時^{とき}これからは説^{せつ}対^{たい}にまあに恥^ち
じないにいちやんいなるって決^{けつ}めたん
だ。まあが自^じ慢^{まん}のにいちやんです。っ
て胸^{むね}はれるように。俺^{おれ}はまあに俺^{おれ}にと
ってすごく大事^{だいじ}なものもらったから。
だから まあのためなら、おれ、何^{なに}だ
ってできるんだ。

(“With” : 61-62-63)

真砂^{まな}は四郎^{しろう}が自分の兄^{あに}であることを知られたくなく、本人^{おれ}もまた何^{なに}

の才能^{さいのう}もなく社交^{しゃこうせい}性^{せい}にも乏^{とぼ}しいただの女子^{じょし}高生^{こうせい}である。OSISの会^{かい}長^{ちやう}でも

ある兄^{あに}の四郎^{しろう}はある日^ひ、真砂^{まな}を守るためにトラックにはねられ死^しんでしま

う。高校^{こうこう}の文化^{ぶんか}祭^{まつり}の準備^{じゆんび}中^{ちゆう}に起^おきたその事^じ故^こは四郎^{しろう}の周^{しゅうい}圍^いを大^{おほ}いに悲^{かな}しま

せる結果^{けつか}とな^なった。そこで真砂^{まな}はクロヌマ・ヤサカ、サギヌマ・ミドリ、

そして四郎^{しろう}からはサルと呼ば^よばれていたサッカー部^ぶのジ^{じん}ン^{たち}と出^で会^あう。彼^{かれ}

らは四郎^{しろう}とともにサッカーに明^あけ暮^くれていたが、四郎^{しろう}がレギュラーに

選出されたことでサッカーを辞めてしまった過去がある。四郎の死の

直後、その魂だけが真砂の中に入りこんでしまった。それはまるで多重人格者のようであった。

そして四郎はクロヌマから信じられない話を聞くこととなった。クロヌマは四郎しか知りえない言葉を真砂から聞くことによって四郎の魂が真砂の中にあることを確信する。そして四郎は意思を持ち真砂の体を操ることができるようになった。そして四郎の起こす行動が次第に真砂に直接的な影響を与えることになる。

高校の文化祭の準備期間中に大きな問題が起こるが、四郎が真砂の中から彼女を助け、結果的に文化祭は成功を迎えた。

結論

斉藤けん著“With”の登場人物を分析した結果以下の結論を得た。

1. 人格心理学とは幼少期からの社会との関わりの中でどのように人格が形成されるかに焦点をおいた研究である。そして、個人の持つ特性や外的要因がどのように影響するのかについて考察している。

2. 主人公である四郎の性格は妹に対する過保護、過干渉的な性格をも
っており、また妹を守るための暴力的側面を持ちながらシスターコンプレックスを抱えている。
3. 作品中では日常生活の中での兄妹の関係とその関係の重要性について深く描かれている。
4. 本作品の分析した結果、読者の多くは四郎のような兄を持つことを夢見る。それは本作品によって読者に対する人格心理学的影響といえるだろう。

